

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	・自立と社会参加を目指し「学びの連続性」「個のニーズに合わせた教育」を推進する。	・各学部で体育の「教科指導内容表」を作成する。	・令和2年度に作成した「体育」のねらいと学習内容のまとめを基に、各学部で「育てたい力」のキーワードを抽出し、体育の「教科指導内容表」を作成する。	・各学部で「育てたい力」のキーワードを抽出し、体育の「教科指導内容表」を作成できたか。					
	・児童・生徒の命を守る教育を推進する。	・防災に関する授業を実施し、ねらいと学習内容を集約する。	・各学部・室で実施する授業から、防災に関わる内容を洗い出し、ねらいと学習内容を一覧にする。	・防災に関わる授業を計画的に実施し、ねらいと学習内容の一覧が作成できたか。					
2 児童・生徒 指導・支援	・アセスメントを充実させ、一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導・支援を組織的に行う。	・アセスメントの観点を明確にし、学部でアセスメントを実施する。	・指導場面での行動観察、アセスメントツール、専門職の助言を基に、アセスメントの観点を整理し、アセスメントプランの試案を作成する。	・実際にアセスメントを実施し、アセスメントプラン(試案)を作成できたか。					
	・インクルーシブ教育に係る本校の役割を模索し、推進する。	・オンラインでの授業交流を実施し、活動内容を整理する。	・授業交流を工夫して実施し、オンラインと具体的な学習活動との効果的な組み合わせを検討する。	・オンラインと具体的な学習活動の特性を明確にして、授業交流の内容を整理できたか。					

	視点	4年間の目標	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
		(平成2年度策定)		具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路 指導・支援	・卒業後の生活を見通し、小・中・高それぞれのライフステージに応じた進路指導・支援を実施する。	・高等部の段階で身につけたい力と日ごろの指導のつながりを手引きにまとめ、移行支援に活用する。	・高等部の実践で、身につけたい力と具体的な活動を例示した手引きを作成する。 ・小・中学部保護者対象の進路学習会を開催し、手引きを基に身につけたい力と、具体的な取り組みを説明する。	・身につけたい力と具体的な活動を例示した手引きを作成できたか。 ・保護者に進路学習会のアンケートを実施し80%以上の理解度。					
4	地域等との 協働	・学校運営協議会を活用し、地域との連携を推進する。	・バザー・文化祭等で、地域の方に農園の野菜を提供し「ほどようブランド」の周知を図る。	・農家等の講師・ゲストティーチャーを招き、販売できる品質の野菜作りに取り組む。 ・近隣の店舗で店頭配付し、周知を図る。	・品質を考慮した野菜作りに取り組み、収穫した野菜を地域に周知できたか。					
		・センター的機能の更なる推進を図る。	・コーディネーター、専門職の巡回相談の内容を職員で共有し、支援の知識の充実を図る。	・指導・支援に生かせるよう、コーディネーター、専門職による研修を工夫して行う(ワークショップ、ロールプレイ等)。	・職員の研修後アンケートを実施し、支援についての理解に対する自己評価○80%以上。					
5	学校管理 学校運営	・事故不祥事防止を徹底する。	(事故)事故・ヒヤリハット事例を検証し、事故が起きやすい場面を共有する。 (人権)人権的配慮について行動テーマを決め、集中的に人権課題に取り組む。	(事故)ヒヤリハット事例を報告するフォーマットを整理し、事例の共有を図る。 (人権)各学部学年で「神奈川県人権教育推進の手引き」等を基に、人権的配慮の行動テーマを設定し、実践する。	(事故)ヒヤリハットの報告フォーマットを整理し、事例及び対応策を共有できたか。 (人権)設定した人権的配慮に対する自己評価○以上80%以上。					
		・児童生徒と向き合う時間を確保するため、校務の効率化を図る。	○業務の効率化・縮減を見える化する。	・夏季休業中に、業務の効率化・縮減に向けたアイデア出しのワークショップを実施し、見える化する。 ・ワークショップのアイデアを試行する。	・職員アンケートを実施し、見える化による取り組みの自己評価○以上が80%以上。					